

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 11 日作成)

小委員会名	環境負荷削減と構造小委員会		主 査 名：坂本 眞一 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会		委員長名：稲田 達夫
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2011 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2009 年度 ・ これまでの本小委員会活動の成果のレビューと残された課題の抽出 ・ 既存ストックの調査, 将来の社会ニーズおよび建設業界の動向予測・分析 ・ 各構造分野における現状の設計施工面での取り組みと課題の整理 2010 年度 ・ コンセプトの創り込みと具体的な構造システムの提案 ・ 2010 年度 AIJ 大会 PD の企画及び実施 (地球環境時代における木材活用 WG, 高耐震都市研究WGと共同開催)		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	坂本 眞一(清水建設), 大谷 恭弘(神戸大学), 軽部 正彦(森林総合研究所), 兼光 知巳(清水建設), 川人 洋志(北海道工業大学), 坂本 成弘(大成建設), 西村 功(東京都市大学), 平川 倫生(三菱地所設計), 藤田 正則(山口大学), 柳橋 邦生(竹中工務店), 三澤 温(アラップ・ジャパン)		
設置 WG (WG 名：目的)	「高耐震都市研究WG」 (WG 主査：藤田 正則(山口大学)) 地震災害に対する都市の脆弱性の問題などの現代都市が抱える緊急の課題について, 地震工学あるいは耐震工学・材料工学の立場から検討を行い、解決のためのシナリオを見出す。		
2010 年度予算	85,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価	
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)	WG 開催回数 6 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. なし	
講習会	1. なし	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. なし	
大会研究集会	1. 研究協議会「低炭素社会実現に向けて建築構造分野はどう進むべきか」	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1. なし	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. これまでの委員会活動, および, 将来予測について整理を行った。 2. 地球環境委員会の構造関連の WG と共同で, 年次大会において, 研究協議会を開催した。	
委員会活動の問題点 ・課題	1. 圧倒的に予算が不足しているため, 各委員の旅費を個人負担とせざるを得ない。	

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。